

あかしん

プランニング・デザイン・総合印刷・オンデマンドデジタル印刷・可変データ印刷
大判ポスター出力・データベース・PDF高速データ変換・CD-ROM制作・
3D・CGアニメーション企画・制作



半田中央印刷株式会社

〒475-0032 半田市潮干町1番地の21
TEL <0569> 29-2525 (代) FAX <0569> 29-4500

E-mail: main@handa-cp.co.jp http://www.handa-cp.co.jp

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ http://www.akai-shinbunten.net <発行所>あかい新聞 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社新聞ビル

元氣のでてくることばたち

138

村上信夫

(アナウンサー)



弁当を2個持参して、1日中滑っていた。幼いころから、完璧主義だった。小2の時、地元のリックが閉鎖となり、名古屋のリックへ変わった。学校から帰ると、母

食事をするというあたりまえのことが出来ないことで、自己嫌悪になり、睡眠障害に苛まれた。皮下脂肪もなくなり、夏でも寒くてしかたなかった。「どうしたの？」と、痩せた体のことを聞かれるのがいやだったから、人に会いたくなかった。豊橋の実家に戻り、病院に行った

村上信夫プロフィール
NHK エグゼクティブアナウンサー
1953年、京都生まれ。明治学院大学卒業後、1977年、NHK入局。富山、山口、名古屋、東京、大阪に勤務。現在は、『ラジオビタミン』担当。(ラジオ第一 8:30~11:50) これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。教育や育児に関する問題に関心を持ち続け、横浜市で父親たちの社会活動グループ『おやじの腕まくり』を結成。趣味は、将棋。著書に『元氣のでてくることばたち!』(近代文芸社) 『おやじの腕まくり』(JULA出版局) 『いのちの対話(共著)』(集英社) 『いのちとユーモア(共著)』(集英社)

摂食障害があったから、今の自分がある

〜フィギュアスケート選手 鈴木明子さん〜

バンクーバーオリンピック、人それぞれ、思い出のシーンがあると思う。なんと私にも私は、フィギュアスケートの鈴木明子選手のフリーを滑り終えたあとの満足感に満ちた笑顔と涙を忘れない。8位入賞を果たした自分に、自分で拍手を送りたい気持ちだったことだろう。競技翌日、新聞には「摂食障害を克服して、見事な復活」という見出しが多く見受けられた。鈴木さんの入賞は、摂食障害の人たちに、一筋の光明をもたらした出来事でもあった。

リンクへの道

1985年3月28日、愛知県豊橋市生まれ。父は、割烹料理店の板前。母はその店の女将。2人の間の一人娘だ。幼いころから、習い事をたくさんしていた。バレエ、ピアノ、水泳、絵画…、なかでも書道は、五段の腕前だ。

スケートを始めたのは、4歳から。多くの習い事の中で、スケートが一番好きになった。

フィギュアを始めたのは、6歳から。夕方から練習なので、働く両親にとっては、格好の託児所になった。休日には、

にランドセルを渡し、スケート靴を受け取って、名古屋へ一目散。片道1時間半かけて、リンクに通った。リンクへの沿線にある中学・高校に入った。2001年(高1)、2002年(高2)、2年連続で全日本選手権4位になり、全日本強化選手に指名された。2003年、仙台にある東北福祉大学へ進んだ。荒川静香さんや本田武史さんたちを育てた長久保裕(ひろし)コーチに教わりたかったからだ。

アクセント

豊橋から仙台へ。初めての一人暮らしだった。練習も、一人暮らしの生活も完璧にこなそうと気負った。「絶対太るまい」の思いが嵩じて、しだいに食べられなくなる。激ヤセで、48キロから32キロにまで落ちこんだ。



俳画/イネ・セイミ

「摂食障害」と診断された。出場が決まっていたスケートカナダ辞退を連盟に告げる時が辛かった。電話を切つてから号泣した。「スケートが出来なくなったら、自分でなくなる」。初めての挫折。選手生命どころか、人間の命すら危ぶまれた。添い寝してもらった母から「無理して食べなくてもいいよ」と言ってもら

えた。3食無理して食べなくても、おなか空いた時だけ食べるようにしたら、少し楽になった。2003年11月、大学に戻ったが、もがきは続いた。リンクに立つても体がふらつく。体力は小学生並みに落ちていた。実績と練習の積み重ねがものを言う世界で、ブランドは致命的だった。そんな鈴木さんに、長久保コーチは、「いつかスケート出来るようになるよ」と言ってくれた。このコーチについていけばいいと思った。

バンクーバーへの道

立ち直りのきっかけは、2004年、荒川静香選手の世界選手権・優勝だった。「たまたま、私の19歳の誕生日の出来事だった。病気を克服して、リンクに戻りたいと切実に思った」。練習は裏切らないと、少しずつ、自分を信じて練習した。出来ないものを減らしていく練習を心がけた。出来ないときでも、最低ラインは確保出来るようにした。

2006年、地方大会で地道に結果を出していった。連戦連勝。2007年は、出場した大会7試合ですべて優勝の快挙!長久保コーチは「別人のスケーターのようだ」と驚いた。全日本選手権でも5位入賞した。完全復活だった。

2008年3月、オランダで開かれた国際大会で優勝した。エキシビジョンで、病気で出場出来なかったオランダの選手の代役を依頼された。その選手は、摂食障害だった。これは偶然ではないと思った。「私が経験することは、経験すべきだと用意されたことだ」と思った。

2008年11月もNHK杯では2位に輝いた。23歳の初出場での表彰台。諦めなければ、いつか願いは叶うと実感した。2008年12月の全日本選手権では4位。3位の安藤美姫選手とは0.11の僅差だった。

摂食障害を経験したことで、あたりまえのことが幸せに思える。「ま、いいか」と思えるようになった。試合でリンクに立つ前、緊張はするが「生きていく証拠」と思えるようになった。プレッシャーを過剰に感じなくなった。「摂食障害があったから、今の自分がある」と心の底から思う。「ただ単に技をこなすスケートはしたくない。魂が感じられるスケートをしたい」。バンクーバーは出発点だ。

村上信夫
ことばのビタミン
好評発売中



フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

ところ 常滑屋
とき 月一回 第二・第四金曜日
午後一時〜三時
会費 一回二二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五九(三三)〇四七〇

大人でも上達する!
おとなのフルート教室
入会受付中!!
何か始めたいと思ってる貴女。数年後素敵にフルートを奏でる姿がそこにあります。楽しく個人レッスン致します。

講師 イネ・セイミ
(フルート奏者 指導歴30年)
レッスン時間5,000円(テキスト代別)
申込み 0569-89-7127
お問合せ scimline@oasis.ocn.ne.jp

慈愛の人・良寛 (58)

杉本武之

良寛とゴッホ(その2)

何をやっても失敗ばかりしていたゴッホが、生きる最後の振り所として画家になろうと決意した時、彼はすでに27歳になっていました。その当時、彼はどんな状況下にあったのでしょうか。なぜ画家の道を選んだのでしょうか。

その2年前、25歳のゴッホは、ベルギー南部の炭鉱地帯方ボリナージュにいました。資格のない伝道師として、炭鉱で苛酷な労働に従事する人々に、神の声を伝えて、心に救いの手を差し伸べようと悪戦苦闘していました。彼の献身的な奉仕の様子を、野村篤は著書『ゴッホと星』の中で次のように書いています。

「当時の炭鉱は、ガス爆発や落盤が頻発し、坑夫たちは日々生死の境をさまよっているといつてよかったです。事故が起これば、ゴッホは危険を冒して被災者たちの救助にあ

たり、医者が見放した重傷者さえ懸命の看護をもって救った。また、その地方一帯にチフスが流行した時、罹患者を恐れず、寝食を忘れて患者の看病に努めた。日常の彼は、貧しい人たちの家を訪れて、悩み事の相談にのり、自分の着ている衣服さえ与え、金を与えた。無一文になった彼は、いつも汚れたシャツを着、みすぼらしい家に住み、藁の上に寝た。人の不幸や悲しみに接すれば、自分も同じ境遇の中に身を沈めなければ気が済まず、我が身を犠牲にしてまで救おうとする。ゴッホとはそういう人であった」

彼が熱烈に献身活動をするほど、伝道委員会から、協会の威信を傷つけるものと非難され、侮辱され、ついには解任されてしまいました。ゴッホは自問します。「聖書によって人に役立つ手段が消滅してしまった今、いつ



ゴッホ自画像

愛を描こうとします。弟のテオにこう書き送ります。「たとえば、真剣にレンブラントの芸術を見極めれば、きっとそこに神を見るだろう。偉大な芸術とは何か。それは、神の存在そのものだ。身を削るほどの誠実さと信念をもつ

たいどんな仕事をすれば、人のためになることができるのか。そして、レンブラントやミレーのように、絵を描くことによって人に役立つ人間になろうと決意しました。自分の絵画の中に、神の存在を思わせるほどの崇高さと人間

て制作する時、絵画の中にも小説の中にも、必ず神は現れるのだ」

伝道師失格の烙印を押され、懊悩し、模索し、やがて画家になろうという決意が固まりつつあった頃、ゴッホは長い手紙をテオに書いてい

だろうか、何かの目的に達する人、何か善いことのできる人になれるだろうか。どうしたらもっと稼いで、一定の題目を深く究めることができるだろうか。それだけなのだ。よ、一途に思い込んでいるのは、どこで、われとわが身を顧みれば、貧窮の俘囚で、職にはありつけず、必要物は手の届かぬ所にある。あんまり楽しくはなかるうじやないか。すると、友愛と強い真面目な愛情があるべき所に、ある空虚があるのを感じる。倫理的精気さえ蝕むような恐ろしい落胆がやってくる。運命は愛情の本能もせき止めるように思われ、嫌悪の情がこみ上げてきて、息が詰まる。「ああ、いつまで続くのか」と叫ぶ。さて、何を語ればよいのか。内部の思想が、外部に現れるなどということがあるのだろうか。僕らの魂の中には大きな火があるのだろうか。世間の役に立つ身になれる

ない。煙突から煙が少々出ているのを見るだけで行ってしまう」

ゴッホが画家の道を選んだ理由について、粟津則雄が『美の近代』(岩波新書)の中で興味深い考察をしているので、要約して紹介しよう。

ゴッホの父方の家系には聖職者が多く出た。父親も牧師だった。一方、母方の祖父は宮廷装幀師だったし、母親も好んで水彩画を描いていた。ゴッホの血は、「聖なるものへの欲求」と「美」への欲求に濃厚に染めあげられていた。彼の中で「聖性」と「美」が鋭く緊迫した対立を示していた。「聖性」は美に対する強い拘束力として働き、「美」は彼が素直に父のあとを継いで牧師になることを阻んだ。彼はそういう内面の劇を抱いて生きなければならなかった。

ゴッホは、画商の道も、教師の道も自ら閉ざしていき、最後の希望として選んだのは、伝道師となる道だった。25歳の時、彼はベルギーのボリナージュの炭鉱地帯に出かけ、貧しい人々に平和と安らぎを与える仕事を開始した。しかし、常識を越えた献身ぶ

り、伝道委員会の眼には、伝道師としての体面を汚すものと思えた。彼は解任された。ゴッホを動かしていた「聖性」は、その実現のための手掛かりを人生のどこにも求めようが無くならなかった。その時にあって、「美」への欲求が彼の精神の全面に立ち現れる。画家ゴッホの誕生のドラマを、粟津は次のように書いています。

「あの絶対的な聖性の觀念に追い立てられて、性急に一つ途にその道を辿り続けた果てに、すべてを失ったと思われた時、画家という仕事が生きてきた具体的な道を探し始める。27歳のゴッホは画家となろうと決意し、改めて第一歩から歩き始めた。ゴッホは、聖職者としての道を閉ざされたために、単にもう一つの可能性として画家の道を選んだわけではない。彼のうちの画家が現実化するためには、彼の中の「聖性」があれほど追い詰められる必要があった。このような「美」を現実化するためには十年に余る時間を必要とした」

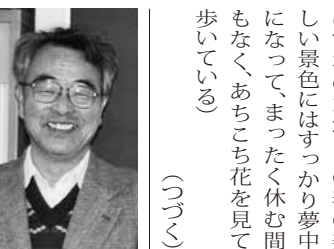
「聖性」と「美」の問題は、良寛の場合にも当てはまります。良寛とは一体何者だったのでしょうか。傑出した禅僧だったといえ、その通りなところが「美」の部分に無視されたことになり、また、漱石さえも感嘆させるほどの漢詩を作り、斎藤茂吉も絶賛した和歌を詠み、あらゆる人々を魅了する書を残した偉大な芸術家だったといえ、その通りなところが「聖性」の部分に忘れて置けることになり、良寛自身は、自分をどう思っていたのでしょうか。漢詩を二つ紹介しましょう。この二つの詩を読む限り、「美」の方が「聖性」よりやや優勢だったようです。

「襦袢また襦袢、襦袢はれ生涯、食は裁かに路辺に乞い、家は実に高梁に委ぬ。月を見て終夜嘯き、花に迷って帰るを知らず。一たび保社を出でて自り、錯つて箇の驚駭と為る」

(大意) 私が着る物は、ぼろだけだ。ぼろを着る貧しい生活、これが私の生涯なのだ。食べ物も道端で托鉢して少し手に入れ、住んでいる家は雑草に埋もれたまま。美しい月を見れば、一晩中歌って過ごし、きれいな花を眺めたまま

家に帰るのを忘れてしまう。いったん円通寺を出てからは、誤ってこんな駄馬のような人間になってしまった) 「春暮、芳草、緑天に連なり、桃花乱点して、水悠悠たり。我も亦た従来忘機の者なるに、風光に慨乱せられて殊に未だ休せず」

(大意) 春の暮れがた、野原の草の緑は天につながっている。桃の花があちこちに咲きだし、川の水がゆったりと流れている。私はもともと俗念を忘れた僧侶のはずなのに、だが、この春の美しい景色にはすっかり夢中になって、まったく休む間もなく、あちこち花を見て歩いている) (つづく)



杉本武之プロフィール

1939年、碧南市に生まれる。京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大講で学ぶ。
趣味：読書と競馬

この指とまれ (169) 氏原朝信

乳幼児とあそび(8)

歌いながらふりつけ(仕種)をするのは、幼児にとつてなみだいていものではありません。あせらず、楽しく何回もすることによっておもしろさ(興味関心)がわいてくるものです。

「ことば遊び」にしても、何回も繰り返しながら遊ぶことによつて、言葉に興味をもち、言葉を多く習得していくのです。

このように考えると、いろいろな遊びは子どもの知恵を育むおぼ(ミルク)だと思えます。

げんこつ山のためきさん

向かい合つて歌を歌いながら、ふりつけ(仕種)をして、最後のところ(またあした)でジャンケンをお願いします。ジャンケンに勝てば、向かい合つた人をくすぐれます。

♪げんこつ山のためきさん
(両手のこぶしを交互に重ねていく)
♪おっぱいのんで
(重ねた上の手の親指を立て口もとにもつていく)
♪ねんねして

(両手を合わせてほっぺにもつていく)
♪おんぶして
(背の方に手を回して)
♪またあし「た」
(かいぐりして、「た」でじゃんけんをする)

二年生の担任をしていた時、この「げんこつ山のためきさん」をみんなでおつたあと、「お母さんのおっぱいの味、どんな味だったのか、思い出してごらん」と言ったら、最初「ヤツ」としていましたが、そのうち「エッチ」「スケベ」と・・・でも、忘れかけた味を生懸命思い出しながら書いてくれました。「おっぱいの味」を下の段に紹介します。

あつたかておあきさんのあじ
あまくてねむくなる味
あしんでできるあじ
あたたかくて牛乳のちよつとあまいあじ
牛乳よりこいあじ
あまずっぱいあじ
ヨーグルトのあじ
スキンミルクみたいな味
ミルクケーキのような味
花のみつのようなあじ
アイスクリームをどかしたようなあじ
はつかみたいなあじ
白くてたまごの白みのようなあじ
小むぎこを水でどかしてかきまぜたようなあじ
いろいろな食べものをどかしたあじ
その日によつてちがう味

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! おからドーナツ

腹持ちのよいおやつです。子供と一緒にねんど細工のように、うさぎの形、くまの形のドーナツをつくってみましょう。

材料(4人分)

- 直径5cmのドーナツ10~12個くらい
- おから 175g
- ホットケーキミックス 150g
- 卵(Mサイズ) 1個
- 砂糖 大さじ2
- マーガリン(トーストに塗るタイプ) 大さじ2
- サラダ油 適量

作り方

- すべての材料をボールに入れ、よく練る。
- 2cmの厚さのコイン形をつくり、中心に穴をあけリング状に整える。

ポイント
(割れ目ができやすいので、ならすように整える)
うさぎやくまの形にもできるのでチャレンジしてみてください!!
③160℃くらいの低温でゆっくりキツネ色になる様、揚げ油で揚げる。
④お好みで、グラニュー糖をからめる。

- 常滑市民文化会館
平成二十二年常滑市子どもを守る会主催 二十四日(土)午前十時~同十一時
めぐみ会ビアンコンサート
二十五日(日)午後二時~同四時
- 常滑市立図書館
炎友会とその友人展 十五日(木)二十四日(土)
- うらがき会展 二十五日(日)~五月六日(木)
- 常滑市民俗資料館
第二十四回我が家の歴史展 五月十六日(日)
- 常滑市体育館
愛知県ソフトバレーボール連盟役員研修会 四月(日)
- 個人強化卓球リーグ 十日(土)
- 尾東地区卓球リーグ 十日(土)
- クラス別ダブルスバドミントン大会 十八日(日)
- 第四十二回春季市民剣道大会 二十五日(日)
- 第六十四回愛知県高等総合体育大会バスケ部門 競技知多支部 予選 二十九日(木)
- 知多市地域文化センター
創作クラブのひかりの動物園 二日(木)~三日(金) 午前九時~午後四時半
内容 カラセロハンの光を使って、大きな動物の絵を作りましょう。材料費 一個二百円
- 季節の工作「いのほり」 二日(木)~三日(金) 午後四時半 内容 麻布テープに模様をつけて、二色染めをします。材料費 一枚二百円
- 五十円工作「茶まき」 二日(木)~三日(金) 午前九時~午後四時半 内容 糸まきを使って紙玉を打つ鉄砲を作ります。材料費 一個五十円
- キッズルーム「さくらんぼ」 二十七日(火)~七月六日(火)までの期間中、全十回コース(全て火曜) 午前十時~同十一時半 内容 リズムに合わせて親子で身体を動かす、ふれあい遊びです。講師 青木アツ子さん(親子ふれあい体験) 対象 おおむね二歳~就園前の親子 抽選三、四百名 申込費 希望の方 三、五百円 申込み 十日(日)まで
- キッズルーム「あひるの親子」 二十三日(金)~七月三十日(金)までの期間中、全十五回コース(全て金曜日) 午前十時~同十一時半 内容 リズムに合わせて親子で身体を動かす、ふれあい遊びです。講師 サンエローズ所属員 対象 来年度就園を迎える親子向き 定員 三十五組 申込み多数の場合は抽選三、四百名 申込費 希望の方 三、五百円 申込み 十日(日)まで

子 定員 二十八組(申込み多数の場合は抽選 託児あり) 参加費 親子一組二千五百円(千四百円) 児希望の方は別に一千五百円 申込み 十日(日)まで

▼キッズルーム「七夕」 スキンシップ 二、二十一日(火)~七月八日(木)までの期間中、全十回コース(全て木曜日) 午前十時~同十一時半 内容 リズムに合わせて親子で身体を動かす、ふれあい遊びです。講師 井筒京子さん(おむね二歳の木所屬) 対象 おおむね二歳~就園前の親子 定員 二十八組(申込み多数の場合は抽選 託児あり) 参加費 親子一組二千五百円(千四百円) 託児希望の方は別に二千五百円 申込み 十日(日)まで

▼キッズルーム「あひるの親子」 二十三日(金)~七月三十日(金)までの期間中、全十五回コース(全て金曜日) 午前十時~同十一時半 内容 リズムに合わせて親子で身体を動かす、ふれあい遊びです。講師 サンエローズ所属員 対象 来年度就園を迎える親子向き 定員 三十五組 申込み多数の場合は抽選三、四百名 申込費 希望の方 三、五百円 申込み 十日(日)まで

(5 ページへ続く)

愛知県立大学名誉教授

山田正敏

『バリ島行ったり来たり』(28)



《伝統的な

バリの村に住む》⑮

――鬱病をも癒した、

田舎の生活環境⑩――

家屋敷も、地域の風土に馴染み、庭の草花も棚田跡地から、手入された「屋敷の庭園」への移植の頃合いにもなってきたようだ。

いつものように、管理人の末娘(当時小学校四年生) コマンの学校からの帰宅を待ち兼ねたかのように、妻は連れ立って庭に出る。どうやら、この「庭いじり」が滞在中の「楽しみの日課」の一つになっているようだ。

この日も、午前中から庭の「草花の移植」を楽しみにしている様子。庭木の栽培や庭づくりに興味をもつ父親の手伝いを、休日にはよくしたものだ――と、全くと違って、ほかに、興味・関心の薄い私に、独り言のようによく話をしていた。

国・公・私立と四十年余りの大学人生活を終えた現在、「年令に相応しい」「生き甲斐」はあるにしても、趣味のもてない私などは時おり羨ましく思うこともしばしば…。この日も、そうだった。

それなのに、私の予想に反して、

やゝ浮かぬ顔付きで、「早めの夕食の準備」に、いつものように二人で取り掛かっている。

尋ねてみると――。「今日は、移植ができない日」だと、コマンが言うから、今日は草取りだけにした。」との返事――。

私は、啞然として…。あれほど、わが子同然に可愛がり、「以心伝心」の間柄に見えるコマンに「移植を断られるとは…。」直ぐには、二の句が次げなかった。

《「バリ暦」で暮らす

バリの人々》

なぜ、今日は「移植ができない日」なのかと問う――と、コマンの説明によれば、単純明快。「バリ暦」に、書いてあるから――。

このバリ暦に、一定の認識をもっている妻は、コマンの指示に従って、即刻草取りに「庭いじり」を切り替え、楽しみにしていた「草花の移植」は翌日に延ばし、二人で少し早めの夕食の準備に取りかゝったというわけ――。

この間の、二人の「庭いじり」の内容の変更の経緯は理解できたものゝ、こんなにも日常生活に食いつける「バリの暦」とは、「何もの」なのか――。それに素直に従って

生活するバリの村人とは――。私の興味・関心は、「庭いじり」どころかあらぬ方向に高まっていった。

コマンの話によると、バリ島では、「本を読んではいけない日」、「鉄でつくられた農作業用の道具も使ってはいけない日」も、バリの暦には書いてある――と言う。

「バリ暦の威力の偉大さ」は、小さな我が家の庭の草花の「移植禁止」どころの話ではない。バリ島の主要産業である農作業用の鋤の使用禁止の日まで定めている「バリ暦」とは――。啞然とさせられた。

こんなに日常生活を規制し、「生活の自由」を阻む「バリ暦」とは、そのバリ暦を「金科玉条」のごとく大切に守り、子どもにまで守らせている、バリの人々の心根――本當の気持ちとは――。

この知りたい本題に入る前に、私は目の前に立っている「あどけない顔つきの少女」コマンに、まづ尋ねてみた。「本を読んではいけない日は、学校は休み?」「ティダ」休みではない。サラスワティの日――。

サラスワティとは、学問＝知恵と芸術を司るバリヒンドゥー教の女神。当日は、この女神を祀る日

であり、書物などにお供物が供えられ、全校の子どもでお祈りをし、聖水で清められ、お供えのお下がりを頂いて帰宅――。

当日の学校での様子を聞いてみると、バリの暦は、ただ単に「読書禁止の日」を定めているのではなく、どうやら「学問の神様・サラスワティを祀る日」を定めている様子――。その結果「本を読んではいけない日」になっているのでは――。コマンの言う、他の「禁止の日」も、バリ暦では同様な定め方になっているのでは…?――

「サラスワティの日」を他の資料で調べてみる――。

この日は、「バリ暦の主だった祭日」の一つとして定められており、この当日は、日頃、知恵と芸術を司る女神サラスワティから授かった特に関心するあらゆることを、感謝の気持ちこめて、女神にお返しする日。したがって、この日一日は本を読んだり、ものを書いたりすることは許されない。学校での授業は勿論、会社も役所もオフィスワークのある所は全て休み――。学校だけの話ではない。

次いでに、コマンの言う「鉄の農器具使用禁止の日」も調べてみた。当日は各家庭で農器具を清め、供物を供え、「日頃の労に感謝する日」とバリ暦に定められている。したがって当日は使用できない――、ということになる。

それにしても、『バリ暦』なるものの持つ、バリ島における社会的影響力の大きさと、それを裏付けるバリ島民の徹底した「バリ暦の日取り遵守の日常生活」には、啞然どころか、改めて敬服させられた。

《バリ暦を、眺めてみる》

この「バリ暦」が、いつの間にか、バリのわが家の白壁にも、よく見えるように掛けられている。多分、妻がコマンに依頼したものだろう。

あの「草花移植禁止の日」に始めて、彼女は実によく日々の暮らしについて、「何かをするのに良い日、してはいけない日」を、よく知っている。最初は記憶力のよい「縁起カツギ」の子くらいに思っていたが、それらは全て、このバリ暦に書いてあるという。

この暦には、宗教神事(祝祭日)はもちろん、結婚式、家の新築、田植え、中には椰子の実を取る日まで、適切な日取りが書かれている。

そう言えば、日本にも「大安吉日」とか「仏滅」という縁起の良い日、悪い日という「お日柄」が書き込まれた「暦」があった。有名な神宮から発行され重宝されていたことを思い出す。

私が最初に会ったバリ暦の主要な祭日は「ガルガン・クニンガン」という、日本のお盆。天空に召された祖先の霊をお迎えし、10日後にお送りする祭りである。七夕のような「ペンジョール」という竹飾りが、各家々の前に美しく並ぶ。(写真)

この竹飾りは、各家の祖霊が、間違いなく「我が家」に帰れるように、この目印だという。このバリの人々の「やさしい心根」に魅せられた思い出が、またも甦ってきた。



いで、さくら

小林 玲子

■小林玲子プロフィール
 愛知県西尾市生まれ。
 《著書》
 童話『サケの子ピッチ』(KTC中央出版)
 随筆集『海辺のそよ風』(アトリエ出版企画)
 ミュージカル脚本『めぐりちゃんのおうち』

御誌「ちたるまん」の発行元、赤井さんから、「さくら」のつづきを書いて下さい、というお電話を頂いた。これは少し説明を要するが、先年この欄に「一里の桜」という拙文を載せて頂いたことがあり、その折、上田三四二の短歌を引用した。

七きわれの記憶のために妻を率て
 さくらにあそぶ さくら寂しと

この歌を春になると思い出されるこのことで、それはその頃、赤井家では御母堂が逝去され、愁傷の中におられた折であったので、この歌に深く感心されたと拝察している。

その後、花の便りを聞く頃になると、拙稿を思い出して下さり原稿を依頼される。

私にも「さくら」は花筐であるが、どうやら赤井さんにとっても、さくらは母上の「花筐」になったようだ。元もと日本人にとって、さくらは霊妙で、強い印象を与える花である。殊に名高いのは西行法師であろう。

吉野山こずゑの花を見し日より
 心は身にもそはずなりにき
 身をわけて見ぬ梢なくつくさばや
 よろづの山の花のさかりを
 花に染む心のいかで残りけむ
 捨てはててきと思ふ我身に
 果ては
 願はくは花の本にて春死なん
 その如月の望月のころ

と、願ったとおり、春、如月の十六日に七十三歳を一期として、入滅された。建久元年(一一九〇)のことで、「ねがはくは」の歌は、ずっと若い頃

に詠まれたが、生涯寄り添った花のもとで思いを遂げられたのは、偶然とは思えず、伝えられるところは病疫であるが、私には、食を絶つての覚悟の死ではなかったかと、つい想像してしまうのである。

釈迦入滅の日でもあるこの日を、自身の一期の日と定め、願望から決定に至り、入定を果たされた……と。根も葉もない戯言とお叱りを覚悟で書くのだが、さくらをこよなく愛した、求道の人の入滅の一期一会は、この日を措いてはありえなかつたに違いない。

西尾吉良にゆかりの詩人、茨木のり子にも、「さくら」の詩がある。

さくら
 ことしも生きて
 さくらを見ています
 ひとは生涯に
 何回くらいさくらをみるのかしら
 ものころつくのが十歳くらいなら
 どんなに多くても七十回くらい
 三十回 四十回のひともさら
 なんという少なさだろう
 もつともつと多く見るような気がするの
 祖先の視覚も
 まきれこみ重なりあい霞たつせいでしよう
 あでやかとも妖しとも不気味とも
 捉えかねる花のいろ
 さくらふぶきの下を
 ふららと歩けば
 一瞬
 名僧のごとくにわかるのです
 死こそ常態
 生はいとしき曇気楼と



こうしてみると、さくらは何という霊力を持つ花であることよ、と慄然たる思いがする。
 ものぐさの私は、「いざやいざや見にゆかん」と桜見物に行くことはめつたにないが、過ぐる年、西行ゆかりの花の寺、大原院勝持寺に行つたことがある。

ゆきて見ん老木は花もあはれなれ
 今いくたびか春にあふべき

西行

桜の時期を少し過ぎていたが、花に逢うはこの時とばかり感嘆したのは、その散るさまのみごとさであった。

さくら吹雪、とは、よくぞ申したとしみじみ感じ入ったのだが、西行庵のある方丈の庭内に坐っていると、小止みなく降りつづく薄紅色の花びらが、あるかなきかの風に、舞う如く流れる如く散り敷くさまは、美しいというより、その凄絶さに言葉を失った。

花びらは、終りもなく音もなく、ふるふる、降るのである。

世の中は空しきものと知る時し
 いよよますます悲しかりけり

大伴旅人の詠嘆が心をよぎつたりする。

うらうらと
 死なむずるなど思いとげば
 心のやがてさぞと答ふる

西行
 遅き日のつもりて遠きむかしかな

燕村
 花吹雪の中で、うつらうつら、私はしばし恍惚の人であった。

話は変わるが、只今話題は、バンクーバー冬期オリンピックに尽きて

いる。
 氷上の妖精たちの、なんと健気に美しかったことか。国民的アイドル

浅田真央さんは、

敦島の大和心をひと問はば
 朝日に匂ふ山桜花 本居宣長

この歌の心を体現していると思う。宣長は、諡号を「秋津彦美津桜根大人」といい、墓地を山室山の頂に定めて、一八〇一年(享和一)七十二歳で生涯を閉じられた。

桜を愛した国学者で、山上の墓には唯一本の山桜が植えられたという。

前出の歌は、不幸にも戦時中、戦意高揚の歌として扱われた悔みがあるが、本来の心は、もののおはれを説いた歌で、楚々として麗しい大和心を謳っている。

真央さんは十九歳の乙女である。可憐な中に凛とした気高さがあり、よよと泣き崩れない強さがある。幼い頃から、どれほどの鍛錬に耐えてきたのだろう。このことは、出場した選手全てに当嵌まることに違いないが、結果が出てなんぼ、の勝負の世界であるから、至上命題はメダルをとることにあろう。

なんとも非情な世界だが、それが選手を鍛え、強くする。それにしても十代の少女である。その高雅な雰囲気、美しさに感嘆し、宣長のいう「大和心」(即ち「朝日に匂ふ山桜花」を想像しながらTVの画面を見つめたことであつた。

悔し涙の貰い泣きもしたが、試練が人を高みに押し上げる筈で、今後が楽しみである。
 競技だけでなく、こういう逸材が一個の人間として、どのように成長されるであろうかと、興味深く思う。匂ふが如き美しい女性になられるに違いない。

さくらさくら
 やよいの空は 見わたすかぎり
 かすみか雲か 匂いぞ出する
 いざや いざや 見に ゆかん

春風の花を散らす見る夢は
 さめても胸のさわぐなりけり

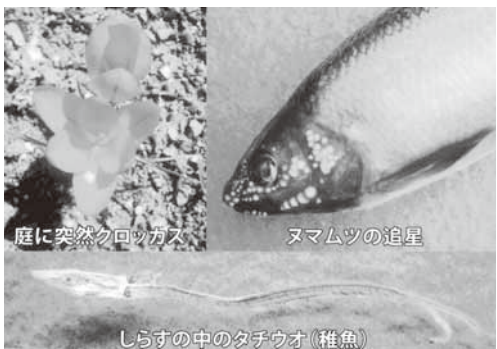
西行
 この春は、いで さくら、と出かけよう。

知多の動植物雑記(二五九)

原 穰

四月を迎え、いよいよ春本番。五日は清明、八日は花祭り。とは言いながら書き出しは二月下旬のこと。ふと出た庭先に、何か薄黄で長さ三センチほどの円筒形のものが見えていた。ナニコレ?と近づけば、根本にコトコトと音が聞こえてきた。二輪も三輪も花が咲いてきた。

白い縦線の入っている細い葉が三本ばかり。円筒形の筒は花の蕾。ひよことしてクワカスとか言う花かなと思いつく。徳川家康じゃないけれど「咲くまで待とうホトトギス」で、翌朝はまだ咲いていなかったが、屋近くには二輪も三輪も花が咲いてきた。



しらすの中のタチウオ(稚魚) ふと見やれば新発見が

開けば、「一日が当り暖かくなれば開き、日が陰ったり夕方になれば閉じる」とあり、成程ネーと実感していた。それにしても植えたことなどかないに、何故?ハトかカラスが運んできたのかナーと思いついて悩んでいた。

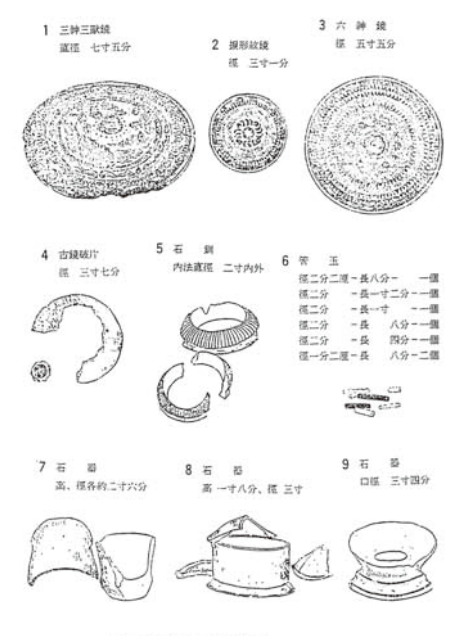
次は、川に棲む魚といっても、知多半島内では限られた川にしか棲んでいないヌマムツの追星(写真右)だがヌマムツの名前は、昭和年代はカワムツ。平成に入ってからカワムツはA型、B型に分けられ、最近ではA型をヌマムツ、B型をカワムツと呼んでいるが、その詳細は後日。

追星はコイ科の魚の産卵期に顔や体側、ひれにまでも現われる真珠色の小突起で、特に雄魚に顕著であるが、特にヌマムツは顔面ニキビ?だらけに驚きである。最後は、久しぶりにしらすの中から発見した体長五センチのタチウオ。早速、碧南水族館の増田副館長に確認に出れば、OKを頂いた上、「チリメンモンスターをさがせなる本を紹介。早速、武書房で求めれば、しらすの中の混じりものの説明に加えて90種ものチリメン(混じりもの)図鑑に感激。でも今はチリメンを除去して売ってるところで残念。

町の考古学

古墳時代(百五十) 奥川弘成

名古屋市熱田台地には、六世紀前半に築造されたと考えられている全長百五十メートルの東海地方最大の断崖古墳があります。全長が百五十メートルもの巨大な古墳をつくる労力は、平地をくり、石を組み合わせて石室を構築しながら土を盛り、つぎ固める。外形を整え、祭祀場をつくり、時として石を置く。これらは、弥生時代の方形周溝墓とは比較にならない大変な労力と土木技術が必要です。断崖古墳の位置する熱田台地、その東の瑞穂台地、天白川右岸の笠寺台地、左岸の鳴海、知多丘陵などに取り囲まれた広大な入海アユチ潟を背景に発達した強大な権力による富の蓄積と大勢の民を働かせる支配があったことを示しているようにです。



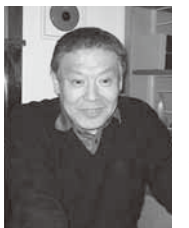
カぶと山古墳出土の遺物(明治40年撮影)

万葉集「年魚市潟潮干にけらし知多の浦に朝漕ぐ舟も沖に寄る見ゆ」の口語訳 アユチ潟は、潮がひいたらしい。知多の浦に朝こいでいる舟も沖の方に寄っているのが見える。アユチ潟が見下ろせる高台から詠んだ歌ですが、この情景を詠むにふさわしいと山古墳の項目(立松彰 東海市史通史編によるかぶと山古墳の項より)。

氏著を引用します。「この古墳は、直径四十五メートル、高さ四・五メートルの円墳で、明治十三年に掘り起こされ、木棺の周囲を粘土でおおった粘土製の埋葬施設から、中国製の鏡を模倣して、日本で作られた三つ角縁獣文帯三つ神三獣鏡・六神鏡・振文鏡・漢式鏡各一面、石製の合子(身と蓋とセットになった小さな器)、埴(底の丸い甕で器台に乗せて立たせる)、器台(埴を乗せる台)の容器類各一点、石釧(腕輪)九点、管玉(糸

かぶと山古墳の出土遺物
乗せる台)の容器類各一点、石釧(腕輪)九点、管玉(糸

ちよつとじやまします
陶芸家 村田益規さん



1つ1つの作品に愛着をもっている。村田さんが弟子入りした先は、量産品の急須を作る窯元だった。親方の作る急須は誰にでも自分だけのものを作れる。親方と一緒の物を作っていると、少々不安をもつようになり、骨董店に通い続けていた頃、骨董店には村田さんの今後の活躍を応援するかのようだった。そのアドバースがきっかけで、村田さんは自ら手がけなくなった。絞りに出た急須に目星を刺すこととなった。そうと決めたら、村田さんの制作意欲は高まる一方で、時には思

いっきり失敗し、大胆になり、自分に刺激を与え続けた。そして、作品のスタイルが仕上がった。絞りに出た急須に目星を刺すことになった。絞りに出た急須に目星を刺すことになった。絞りに出た急須に目星を刺すことになった。

趣味は落語と浪曲。村田さんは芸人の世界と職人の世界は似ているのかという。村田さんは自身で書かれた急須に目星を刺すことになった。絞りに出た急須に目星を刺すことになった。絞りに出た急須に目星を刺すことになった。

イベント

- 梅の香にみたららしの香も梅まつり... 若竹俳壇... 吉田ひろし... 谷川と志江... 小島彩... 加藤浩美... 久米久子... 永了京子... 林京子... 中野悦子... 河津四子... 清水文子... 藤井夕子... 杉江夕子... 山口夕子... 古田夕子... 中野夕子... 竹田夕子... 井野夕子... 佐藤夕子... 佐藤夕子... 井野夕子... 岩田夕子... 岩田夕子... 伊藤夕子... 伊藤夕子... 中村夕子...

- 午後五時半... 常滑市生活に役立つ暮らしの骨董展... 常滑市生活に役立つ暮らしの骨董展... 常滑市生活に役立つ暮らしの骨董展...

若竹俳壇

- 梅の香にみたららしの香も梅まつり... 若竹俳壇... 若竹俳壇... 若竹俳壇...

- 午後五時半... 常滑市生活に役立つ暮らしの骨董展... 常滑市生活に役立つ暮らしの骨董展...

- 午後五時半... 常滑市生活に役立つ暮らしの骨董展... 常滑市生活に役立つ暮らしの骨董展... 常滑市生活に役立つ暮らしの骨董展...

わが家のニューフェイス



中野^{たいじゆ}泰樹 (2才4ヶ月) 武豊町東大高

写真・文	んな車にのうかなあ。	まのほくが大きな。	やんのこみになてあげ	車を見るよ。	最近ほのちやい。	もちやを走らせ。	お家の廊下で。	大好きです。	毎日ばあちゃんとお	ました。	十二日に二歳になり	のり前は泰樹です。	はじめまして。
------	------------	-----------	------------	--------	----------	----------	---------	--------	-----------	------	-----------	-----------	---------



愛と My Family



鬼頭^{あいな}愛奈 (1才) 名古屋市中川区

写真・文	みに待つてね!!	すぐ歩けるよ。	動かすことが大好きだ。	井まで届きそう。	ぱに高い高い。	ごく速い。	元気がいい。	は心配して。	いけるか。	同い年の子。	日生まれの子。	こんにちわ。
------	----------	---------	-------------	----------	---------	-------	--------	--------	-------	--------	---------	--------



シャツ+Tシャツ展

中根由美子・たかぎくみ・加藤勢季子・小野由良美・水口晶美子

2010.4/17 [SAT] ▶ 25 [SUN]
10:00-17:00 水曜定休

さまざまなジャンルの作家がTシャツを作りました。
ジュエリー作家はふくろうのTシャツ。
陶芸作家は手描きのカエルです。
シャツは透ける麻・白いレース綿・柿渋染布のオリジナルです。



陶芸サロン 陶美園

〒479-0838 常滑市鯉江本町6丁目36番地
☎(0569)35-2320



安心・安全で美味しい水を、ご家庭へ、オフィスへお届けします。
2週間無料おためし
ウォーターサーバー1台とアクアマジックボトル3本がおためし無料 **キャンペーン**

さらに今なら、お試した終了後ご成約の方、初回ボトル3本以上ご購入で
3,000円キャッシュバック 請求書にて値引きいたします。

アクアマジックは サーバー レンタル 無料

総合エネルギー商社 大和グループ

AQUAS 株式会社アクアス

0800-200-1913

初期費用	2,625円
カートリッジ	2,625円
ボトル3本	3,150円
アクアマジックサーバー	0円
レンタル費用	0円
初回割引	-3,150円
合計	2,625円